

ディスポーザ 取扱説明書

型名

YD200BWPA2

自動給水型(直接給水タイプ)



このたびはディスポーザをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

とくに、「安全上のご注意」(2~4ページ)は、必ずご理解していただき、お守りください。

お読みになった後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

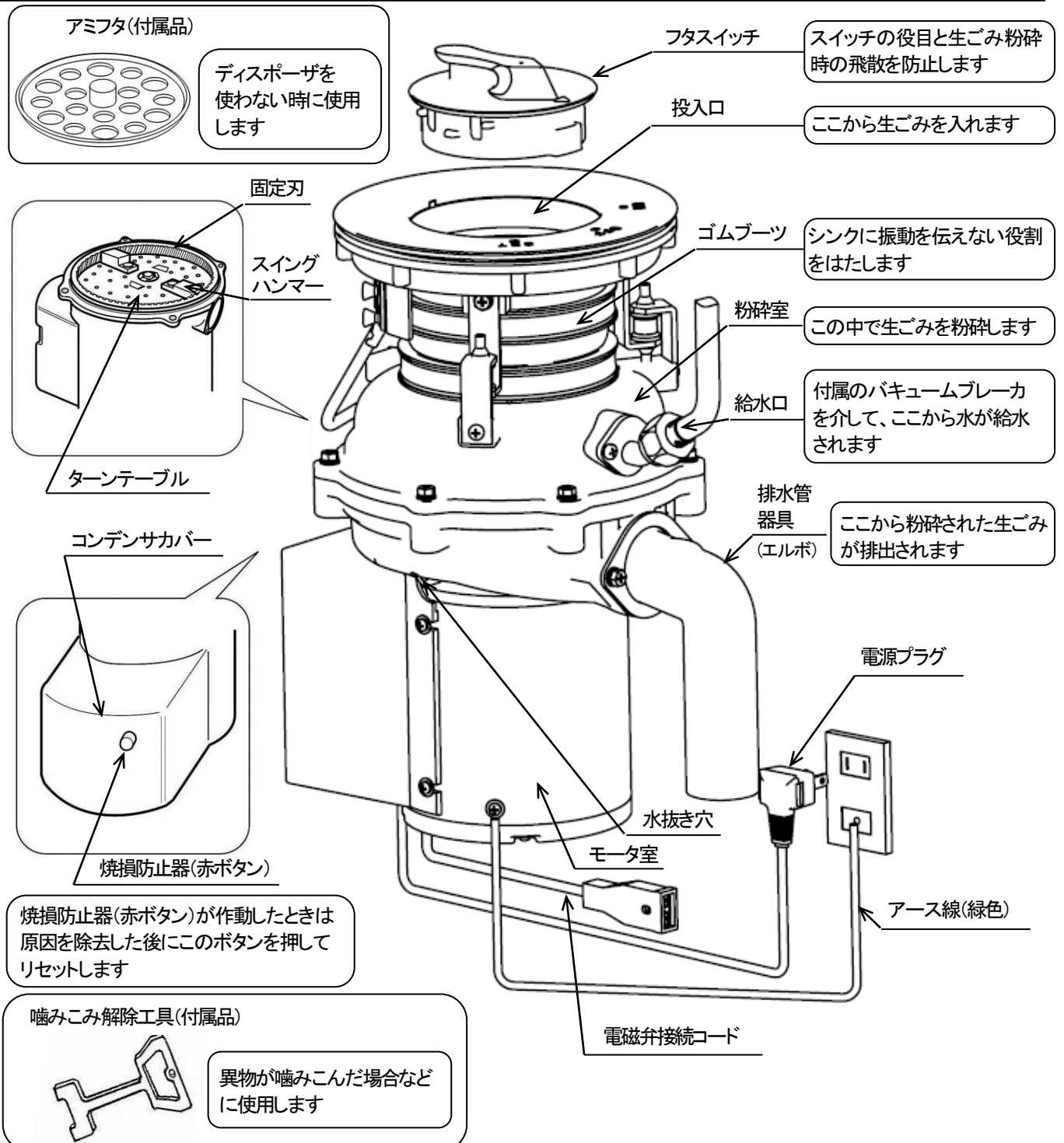
	ページ
● はじめに	1
● 各部の名称とはたらき	1
● 安全上のご注意	2
● ご使用の前に	4
● 粉碎物についてのご注意	5
● ご使用方法	6
● 運転後、粉碎室に生ごみが残っている場合	8
● 上手な使い方	8
● ディスポーザを使わない時	8
● お手入れ方法	9
● 異物が噛みこんだ場合の復旧方法	11
● 故障かなと思ったら	12
● 仕様	13
● アフターサービスと保証	14

はじめに

ディスポーザは、家庭で出される生ごみを粉碎し、水とともに専用の排水管に流し出す装置です。ディスポーザ運転時に、自動で粉碎室へ水が流れるタイプのディスポーザです。

一部の指定外地域を除き、ディスポーザ単独での使用はできません。ディスポーザ排水処理槽との併用でのみ使用できます。

各部の名称とはたらき



安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に必ずよく読んで上で、正しくお使いください。

ここでは人身事故や家財の損害を未然に防止するために必ずお守りいただく内容を説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

警告

	<p>●電源コードを破損するようなことはしないでください。 〔改造する、傷つける、ねじる、引張る、熱器具に近づける、はさむなど〕</p> <p>感電・ショート・火災の原因になります。 電源コードの修理・改造・固定はディスプレイ相談窓口にご依頼ください。</p>	<p>●分解・修理・改造は絶対に行わないでください。</p> <p>火災・感電・ケガの原因になります。 修理はディスプレイ相談窓口にご依頼ください。</p>
	<p>●本体やコード類をぬらさないでください。</p> <p>漏電・感電の原因になります。</p>	<p>●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。</p> <p>感電の原因になります。</p>
	<p>●電磁弁・バキュームブレーカの分解・修理・改造は絶対に行わないでください。</p> <p>火災・漏電・感電・漏水・ケガの原因になります。 修理はディスプレイ相談窓口にご依頼ください。</p>	<p>電磁弁 バキュームブレーカ</p>

安全上のご注意(つづき)

必ずお守りください

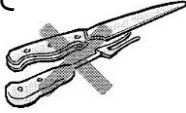



警告

	<ul style="list-style-type: none">●アース線を確実に取付けてください。<ul style="list-style-type: none">・故障や漏電の時に感電する原因になります。・アースの取り付けはディスプレイ相談窓口にご相談ください。(D種接地工事)	
	<ul style="list-style-type: none">●タコ足配線は絶対にしないでください。<ul style="list-style-type: none">・他の器具を併用すると分岐コンセント部分が異常発熱して発火の原因になります。	
	<ul style="list-style-type: none">●交流100V以外では使用しないでください。<ul style="list-style-type: none">・火災、感電、故障の原因になります。	
	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグにホコリや水滴などが付着していないか確認の上、コンセントに電源プラグをしっかりと差し込んでください。<ul style="list-style-type: none">・ホコリや水滴が付着したり、コンセントに電源プラグがしっかり差し込まれていない場合、火災、感電の原因になります。	
	<ul style="list-style-type: none">●本体側面下部にある焼損防止器の赤ボタンを、テープなどで固定しないでください。<ul style="list-style-type: none">・モーターに異常負荷がかかり、火災の原因になります。	
	<ul style="list-style-type: none">●粉碎音ができる間は、フタスイッチを開けないでください。<ul style="list-style-type: none">・粉碎物が飛び出してケガの原因になります。	
	<ul style="list-style-type: none">●投入口の中に手を入れしないでください。 特にお子さまには注意してください。<ul style="list-style-type: none">・粉碎部内のスイングハンマーなどで、手にケガをする原因になります。	
	<ul style="list-style-type: none">●磁石を使用した製品を投入口に近づけないでください。<ul style="list-style-type: none">・フタスイッチが投入口に収まっていないときにディスプレイが作動し、ケガの原因になります。	
	<ul style="list-style-type: none">●異物を取り除くときは、あらかじめコンセントから電源プラグを抜いて運転が止まっていることを確認し、手を粉碎室に入れずに菜箸・トンガなどで取り出してください。 噛みこんでいる場合は、『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』(10ページ)を参照してください。	

安全上のご注意(つづき)

必ずお守りください

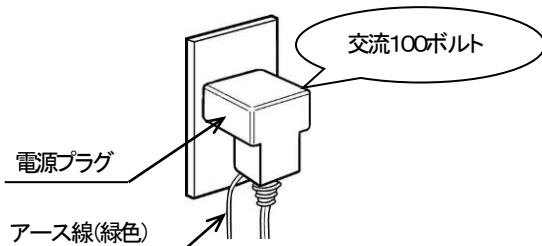
⚠️ 注意

	<ul style="list-style-type: none"> ●断水時はディスポーザを使用しないでください。 ・配管の詰まりの原因になります。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴムブーツ部はフォーク・ナイフ・包丁・串類などの鋭利なものや固いものによって損傷する恐れがあります。ご使用中および清掃の際は十分ご注意ください。 ・水漏れの原因になります。 ●シンク下にある排水トラップやコード・ホース類に物が触れないように十分ご注意ください。 ・水漏れ、水量不足等の原因になります。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●シンクに60℃以上の高温水を続けて流さないでください。 ・配管部品の変形や劣化が発生し、水漏れの原因になります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●フタスイッチには磁石が内蔵されています。 ・時計等、磁石の影響を受けるものを近づけないようにしてください。 ・金属が付いた場合はきれいに取り除いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●シンクに水をためているときは、絶対に運転しないでください。 ・本体やシンクが大きく振動し、本体が落ちて、ケガをしたり、シンクの破損・水漏れの原因になります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●モーターに直接手を触れないでください。 ・運転直後は高温になっているため、やけどの原因になります。




ご使用前に

●アース線と電源の確認

アース線(緑色)がコンセントのアース端子に確実に接続されていることを確認してください。電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。



⚠️ 警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●タコ足配線は絶対にしないでください。 ・他の器具と併用すると分岐コンセント部分が異常発熱して発火の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグにホコリや水滴などが付着していないか確認してください。 ・ホコリや水滴が付着したり、コンセントにしっかりと差し込まれていない場合、感電や火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●交流100V以外では使用しないでください。 ・火災・感電・故障の原因になります。

粉碎物についてのご注意

投入できるもの

野菜くず、果物くず、ご飯、魚肉、肉類、小魚の骨、手羽元などの鶏の骨、昆布などの海藻類、麺類、スープ、パン、菓子、揚げ物、お茶葉、残飯など



※同一生ごみ、もしくは多量の生ごみ・卵の殻の投入は排水配管詰まりの原因になります。

投入できないもの

 注意		<p>●投入口に、次のような物を絶対に入れないでください。 -ディスポーザや配管が劣化し、故障や水漏れなどの原因になります。</p>
<p>強い繊維質のもの、貝殻類、粉類 竹の子の皮、トウモロコシの皮・芯、栗の皮、多量の枝豆の皮、パイナップルの芯・皮、生け花、バナナのヘタ、アサリ・シジミ等の貝殻、多量的小麦粉等の粉類など</p>		<p>不具合例 ディスポーザのスイングハンマーや固定刃を傷めたり、排水配管詰まりの原因になります。</p>
<p>かたい生ごみ、やわらかい生ごみ 牛骨、豚骨、中大型魚の頭や骨、多量の生米、調理前の固い餅、かに類の殻、生魚の皮、桃・柿などの硬い種、生肉の皮など</p>		<p>不具合例 ディスポーザのスイングハンマーや固定刃を傷めたり、粉碎されずに粉碎室内部に滞留する原因になります。</p>
<p>食品以外のもの 金属、プラスチック、陶器類、石、砂、ガラス、紙、木類、ラップ、ビニール、たばこの吸いがら、ゴム類、毛髪、ペットの毛など</p>		<p>不具合例 ディスポーザのスイングハンマーや固定刃を傷めたり、故障の原因になります。</p>
<p>食品以外のもの(鋭利なもの、かたいもの) フォーク、ナイフ、包丁、串類など</p>		<p>不具合例 ゴムブーツが損傷し、水漏れの原因になります。</p>
<p>薬品類、高温のもの 殺虫剤、除草剤、酸・アルカリ性洗剤、熱湯、熱い天ぷら油、熱いカレーなど</p>		<p>不具合例 ディスポーザや排水配管が劣化して水漏れの原因になります。また、処理槽で正常な処理ができなくなる原因になります。</p>

●投入口に、次のような物を多量に入れないでください。

食器洗いに使用される量や、鍋などに付着している油量程度は支障ありません。

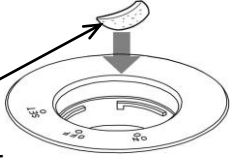
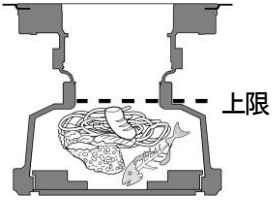
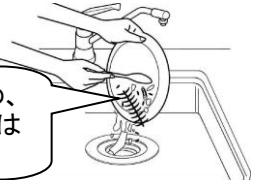
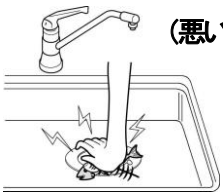
サラダ油、天ぷら油、台所用洗剤、酒類、多量の生クリームやマヨネーズなど



不具合例
処理槽で正常な処理ができなくなる原因になります。

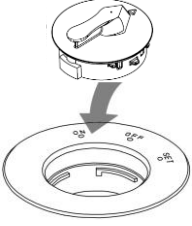
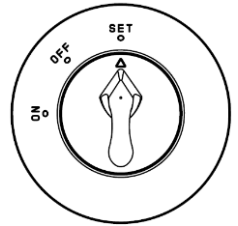
ご使用方法

1 生ごみを投入口から入れる

<p>大きな生ごみは、できるだけ小さく(2~3cm程度)刻んで投入してください。</p> <p>2cm~3cm程度</p>  <p>正常に粉碎できない原因になります。</p>	<p>1回の処理容量の目安は右図の上限位置までにしてください。</p>  <p>生ごみの種類によりますが、目安は約200~500gまでです。</p>
<p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスポーザに投入してはいけないものがあります。投入してはいけないものが混ざっていないか確認してご使用ください。(5ページ参照) ● 生ごみは無理に押し込まないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・モーターに負荷がかかりすぎ、故障の原因になります。 ・ゴムブーツに傷がつき、水漏れの原因になります。 ● 運転の繰り返しは5分(5回)を超えて行わないでください。 <p>異常や故障を防ぐため、粉碎できない生ごみは入れないでください。</p>  <p>(悪い例)</p> 

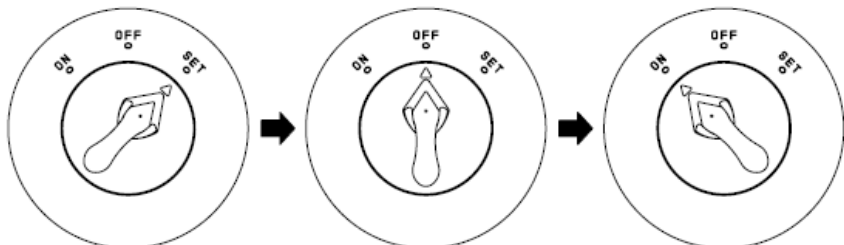
2 投入口にフタスイッチをはめ込む

フタスイッチを投入口のSET位置に合わせてはめ込む。

<p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 磁石を使用した製品を投入口に近づけないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・フタスイッチが投入口に収まっていないときにディスポーザが作動し、ケガの原因になります。
<p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● フタスイッチには磁石が内蔵されています。時計等、磁石の影響を受けるものを近づけないでください。 ● 金属がついた場合はきれいに取り除いてください。 ● シンクに連続して60℃以上の高温水を流さないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・トラップの変形や劣化が発生し、水漏れの原因になります。

3 フタスイッチをON位置に合わせる



(この位置でフタスイッチを挿入します) (1段下に下がります。) (水が自動で流れた後、粉碎がはじまります。)

- フタスイッチを反時計方向(左方向)に回転させ、OFF位置からON位置に合わせる。
- ブザー音「ピッ」が鳴り、ディスポーザ内に水が自動で流れ、約5秒後にディスポーザの粉碎動作(モータ運転)を開始します。
- 粉碎動作開始から、約1分で粉碎動作を自動で一旦停止します。(給水は続きます。)
- 約10秒間停止後、モータが再始動します。
(停止中はブザー音「ピッピッ・ピッピッ・ピッピッ」が鳴ります。)
- 再始動して約5秒後にブザー音「ピー・ピー・ピー」が鳴り、モータが自動停止し、水が自動で止まります。

 警告		<ul style="list-style-type: none"> ● 粉碎音がする間は、フタスイッチを開けないでください。 ・ 粉碎物が飛び出してケガの原因になります。
 注意		<ul style="list-style-type: none"> ● 運転中はフタスイッチをOFFにしないでください。 ・ 配管内にごみが残る可能性があります。 ● 運転を途中で停止させた場合は、再度、ディスポーザを運転して下さい。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 断水時はディスポーザを使用しないでください。 ・ 配管の詰まりの原因になります。 ● 水栓を使用している状態と同時に運転をおこなわないでください。 ・ 水はけが悪くなり、シンクに水がたまる原因になります。






4 粉碎が終わったら

- 終了したら、フタスイッチをOFF位置に合わせる。

 警告		<ul style="list-style-type: none"> ● 終了した後、回転が完全に停止するまで2~3秒かかります。 その間はフタスイッチを開けないでください。 ● 投入口の中に絶対手を入れないでください。 ・ 粉碎部内のスイングハンマーなどで、手にケガをする原因になります。
---------------	--	---

運転後、粉碎室に生ごみが残っている場合








●ご使用方法の2項『投入口にフタスイッチをはめ込む』より、繰り返し操作してください。

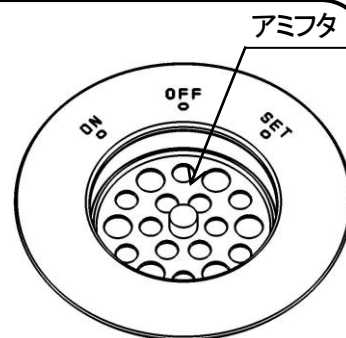
 警告		<p>●投入口の中に手を入れないでください。 ・粉碎部内のスイングハンマーなどで、手にケガをする原因になります。</p>
 注意		<p>●運転の繰り返しは5分(5回)を超えて行わないでください。 ・モーターが過熱し、故障の原因になります。 ※30分程度待ってからお使いください。</p>
		<p>●モーターに直接手を触れないでください。 ・運転直後は高温になっているため、やけどの原因になります。</p>

上手な使い方

- 大きいものや、かたいものは、小さく切ってから投入すると処理しやすくなります。
- 同一生ごみや、軽いもの(お茶の葉など)は、ほかの生ごみと混ぜると処理しやすくなります。
- ディスポーザをこまめに使用し、使用後は水を多めに流してください。(使用の目安は1日1回以上)
※粉碎室内に錆・水垢などがつきにくくなります。

ディスポーザを使わない時

 注意		<p>●ディスポーザを使わない時は、アミフタを投入口にはめ込んでおいてください。 ・スプーンやフォーク等の金属類が粉碎室内に落下し、故障や水漏れの原因になります。</p>
 注意		<p>●ディスポーザを長期間ご使用にならない場合、お手入れ方法(粉碎室(P9))を参考に、できるだけ入念にお手入れをしてください。さらに可能であれば1ヶ月に1回程度、約1分間運転してください。</p>
 注意		<p>●普段、在宅中でもディスポーザをほとんどご使用にならない場合、細かな粉碎カスなどにより、詰まりや臭いの原因になりますので、お手入れ方法(粉碎室(P9))を参考に週に1回程度のお手入れを行ってください。</p>
		<p>●粉碎室に生ごみを入れたまま長期間放置しないでください。</p>



お手入れ方法

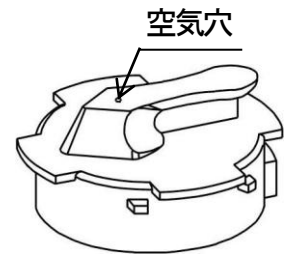
●フタスイッチ

フタスイッチの空気穴にごみ等が詰まっている場合は、つまようじ等の細い物についてください。

※空気穴が詰まっていると排水が悪くなる原因になります。

スポンジに台所用中性洗剤をつけて洗ってください。

特にフタ裏側には、粉碎された生ごみが付着している場合があります。



●粉碎室

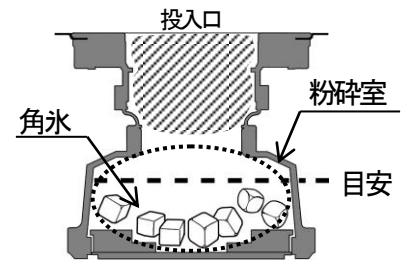
生ゴミを粉碎室に残ったまま放置されると、粉碎室内の錆や汚れ、黒カビ等の糸状菌が発生する原因となります。

週に1回程度、右図のように角氷を粉碎室に投入して、運転してください。

細かなカスが取り除かれます。

また、ニオイが気になる場合は、生ごみを入れずに毎分8リットルの水を流しながら、約1分間運転してください。

粉碎しきれなかった生ごみが残っている場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後、手を粉碎室に入れずに菜箸・トンガなどで残っている生ごみを取り出してください。



⚠注意



●ディスポーザのご使用をされなくても定期的な清掃は実施ください。

・日常の洗い物等で細かい残りカスが粉碎室に付着している可能性があり、この付着した細かい残りカスが機器の錆や黒カビの発生原因になったり、悪臭発生の原因になります。

●投入口周り

投入口周りは、台所用中性洗剤をご使用いただき、柔らかいスポンジ等で定期的に清掃してください。特に油を含む生ごみを粉碎後、油膜等が投入口に付着している場合があります。



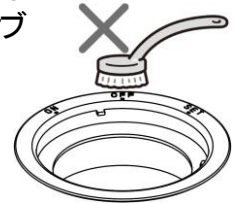
⚠注意



●投入口周りの清掃の際は、金ブラシ等の鋭利なものや硬いものを使用せず、スポンジや樹脂ブラシ等の柔らかいものを使用してください。

・投入口のゴムブーツ部が損傷した場合、損傷部に汚れが付着し、黒カビや臭い等の発生の原因になります。

・ゴムブーツ部の破れ等が発生した場合は、水漏れの原因となります。



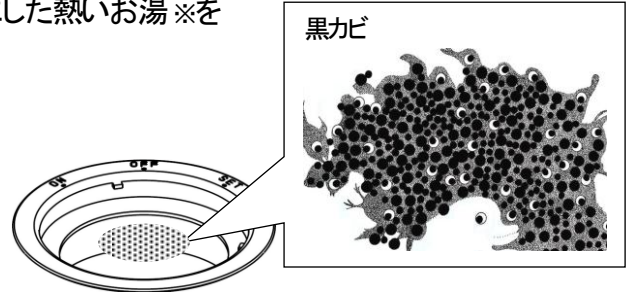
●中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。

・処理槽で正常な処理ができなくなる他、ディスポーザの金属部分が変色し、腐食(錆)を引き起こし、水漏れの原因になります。






●黒カビ等の発生があった場合

万が一、右図のように投入口や粉碎室内に黒カビ等が発生した場合は、黒カビ発生箇所に給湯器の温度設定を50°C~60°Cにした熱いお湯※を1分間程度満遍なく掛け続けてください。
その後引き続き、定期的な清掃方法で記載している清掃を実施ください。
※やけどには十分にご注意ください。





●本体・電源プラグ・排水管

クレンザー・シンナー・アルコール・ベンゼン・灯油などを使わず、柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

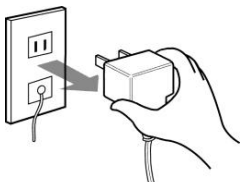
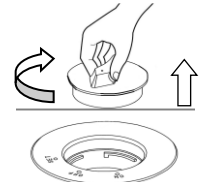

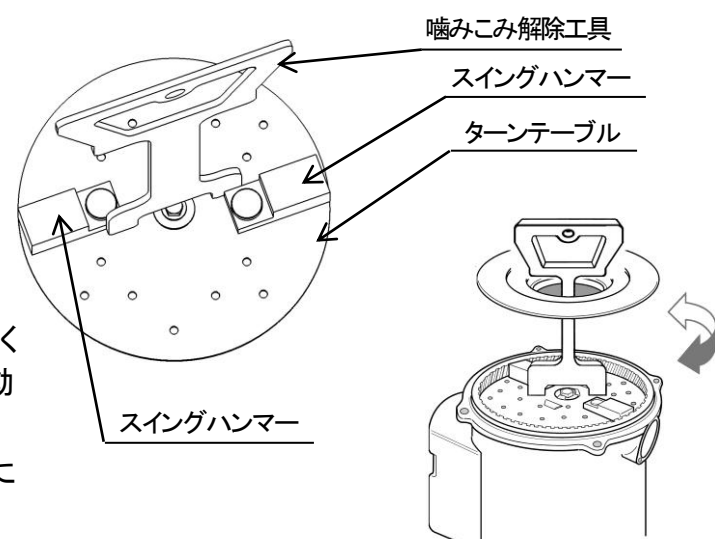
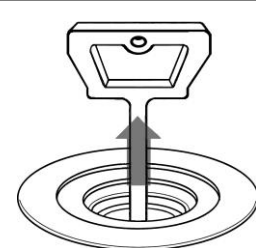
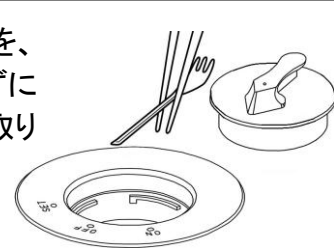
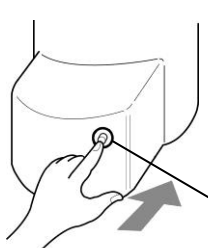
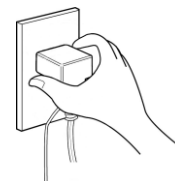
 注意		●ディスプレイ本体及び排水管類へ石油(灯油を含む)・有機溶剤(ベンゼン・シンナーを含む)・オレンジ成分を含む洗剤や殺虫剤を塗布しないでください。 ・樹脂部品が破損し、水漏れの原因となります。
		●運転直後は、本体が高温になっているため、本体に触れないでください。 ・やけどの原因となります。

●配管

週に1回程度、鍋や洗いおけなどに多めに溜めた水を一気に流してください。
配管に溜まりやすいものが流れます。

 注意		●溜め水を流す際は、アミフタを投入口にはめ込んでおいてください。 ・スプーンやフォーク等の金属類が粉碎室内に落下し、故障や水漏れの原因となります。
---	---	--

異物が噛みこんだ場合の復旧方法

<p>1. 電源プラグを手で持ってコンセントから抜きます。</p> 	<p>2. フタスイッチをSET位置に合わせて、投入口から外してください。</p> 
<p>3. 投入口の中央より垂直に『噛みこみ解除工具』をターンテーブルに当たるまで挿入します。</p> 	
<p>4. 『噛みこみ解除工具』を軽く左右方向いずれかに回転させると、両端部分が本体内部のスイングハンマーに引っかかります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>スイングハンマーに引っかけた状態で強く回して、ターンテーブルが左右方向に動くことを確認してください。 ※かたい場合は、同じ要領で反対方向に回してください。</p>	
<p>5. 『噛みこみ解除工具』を投入口より抜いてください。</p> 	<p>6. 噛みこんでいたものを、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで取り出してください。</p> 
<p>7. 本体の側面にある焼損防止器(赤ボタン)をカチッと音がするまで押し込みます。</p>  <p>※焼損防止器(赤ボタン)を押してもカチッと音がしない場合はすでに押し込まれた状態ですので、そのままにします。</p> <p style="text-align: center;">焼損防止器(赤ボタン)</p>	<p>8. 電源プラグをコンセントに差し込みます。</p>  <p>※必ず運転を行ってください</p>

※異物が噛みこんでモーターに負荷がかかると、モーターを保護する安全機構が作動します。

※噛みこみ停止は本体故障ではありません。

その為、保証期間中であっても、噛みこみ・つまりに伴う技術員の派遣及び修理は有償となります。

故障かなと思ったら

下記の表に従って調べてください。

【現象】	【原因】	【処置】
スムーズに排水されない。 シンクに水が溢れてくる。	粉碎室内の排水穴が詰まっている。	水を流しながら、生ごみを入れずに運転・停止を数回繰り返してください。
	フタスイッチの空気穴が詰まっている。	つまようじ等の細いものでついでください。 (9ページ参照)
	生ごみを入れすぎている。	投入量を少なくしてください。 生ごみを入れずに運転・停止を数回繰り返してください。 それでも直らない場合はディスプレイ相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
起動しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグを、コンセントに確実に差し込んでください。
	投入口にフタスイッチが取り付けられていない。	フタスイッチを投入口のSET位置に挿入した後、OFF位置からON位置の順に合わせてください。
	フタスイッチがON位置に合っていない。	
	電子タイマが作動し、自動停止している。	フタスイッチを一度OFF位置にした後、ON位置に合わせて起動してください。
	本体の焼損防止器(赤ボタン)が働いている。	『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』の手順に従って焼損防止器の作動を解除してください。 (10ページ参照)
	焼損防止器(赤ボタン)の作動を解除しても起動しない。	モータの過熱が考えられますので、モータが冷えるのを待って(30分程度)再度、運転してください。
	ご家庭のディスプレイへの供給ブレーカがOFFになっている。	ご家庭のブレーカをONにしてください。
	運転中に電源が切れた。 (落雷、停電等)	フタスイッチを一度OFF位置にした後、ON位置に合わせてください。
モータは回るが 粉碎しない。	粉碎室に大きな生ごみが残っている。 (6、8ページ参照)	コンセントから電源プラグを抜いて運転が止まっていることを確認し、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで取り出してください。
	粉碎室に処理できない物が滞留している。	
	スイングハンマーが動かない。	ディスプレイ相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
うなり音はするが 起動しない。	粉碎室に異物が噛みこんでいる。	『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』の手順に従って解除してください。(10ページ参照)
大きな音がする。	投入できないもの(スプーン等の金属や大きな貝殻等)が入っている。	コンセントから電源プラグを抜いて運転が止まっていることを確認し、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで取り出してください。

13ページにつづく

【現象】	【原因】	【処置】
水漏れする。	モータ部(水抜き穴)から漏水している。 (1ページ参照)	オイルシールが磨耗していますのでディス ポーザ相談窓口にて、点検・修理を依頼してく ださい。
	シンク接続部から漏水している。	ディスポーザ相談窓口にて、点検・修理を依頼し てください。
	ゴムブーツ部から漏水している。	
	排水管部から漏水している。	
	ディスポーザ本体から漏水している。	
フタスイッチが取れ ない。	スプーン等の異物が噛みこんでいる。	無理にフタスイッチを動かそうとすると、ゴムブ ーツ、フタスイッチが破損し水漏れ、誤作動の 原因になりますので、ディスポーザ相談窓口 にて、点検・修理を依頼してください。
ディスポーザは起 動するが水が出な い。	給水管の止水栓が閉まっている。	給水管の止水栓を開いてください。
	電磁弁接続コードが電磁弁に接続されてい ない。(1ページ参照)	ディスポーザ相談窓口にて、点検・修理を依頼し てください。
	電磁弁内に異物が詰まっている。	
ディスポーザ停止 後しばらくしても水 が止まらない。	電磁弁内に異物が詰まっている。	ON・OFFを何度か繰り返しても改善されない場 合は、給水管の止水栓を閉めて、ディスポー ザ相談窓口にて点検・修理を依頼してください。

異常な現象が直らない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、本取扱説明書の末尾に記
載のディスポーザ相談窓口へご相談ください。

仕様

1. 使用可能水温 …………… 0℃～40℃
2. 定格周波数 …………… 50Hz/60Hz
3. 電源容量 …………… 15A
4. 定格電圧 …………… AC100V
5. 電動機形式 …………… コンデンサ運転式単相誘導電動機
6. 極数・定格出力 …………… 4極・200W
7. 定格消費電力 …………… 330W/400W (50Hz/60Hz)
8. 連続運転時間 …………… 5分(電子タイマ制御による自動停止機能付き)
9. 粉碎部容量 …………… 約1.5L (1回あたりの処理容量:約200g～500g)
10. 外形寸法 …………… 幅201mm×奥行き270mm×高さ327mm
11. 質 量 …………… 8kg
12. 安全装置 …………… 焼損防止器・サーマルプロテクタ
13. 電源コード …………… 長さ約1m
14. アース線 …………… 長さ約1m、緑色
15. 排水 管 …………… 排水口φ38

アフターサービスと保証

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

本取扱説明書末尾に記載してあるディスプレイ相談窓口へご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 11～12ページの「故障かなと思ったら」の項をご確認後、ディスプレイ相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間中であっても、保証書の規定に沿わない場合や噛みこみ・つまり・投入できないものを入れた場合等に伴う技術員の派遣および修理は有償となります。
- 保証期間が過ぎ、修理により機能が維持できる場合は、ご希望により有償で修理させていただきます。
- 修理料金のしくみ
修理料金は、作業費・部品代・出張費などで構成されています。
作業費：診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代：修理に使用した部品および補助材料代です。
出張費：お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年間です。
補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

● 製造元： 安永エアポンプ株式会社

● 販売元： 安永クリーンテック株式会社

〒130-0014 東京都墨田区亀沢3-4-1 安永東京センター3階
TEL 03-5619-1022 FAX 03-5619-1039

= ディスプレー相談窓口 =

フリーダイヤル 0120-750-868[24時間受付]

(土・日も受付しておりますので、お気軽にご相談ください。)